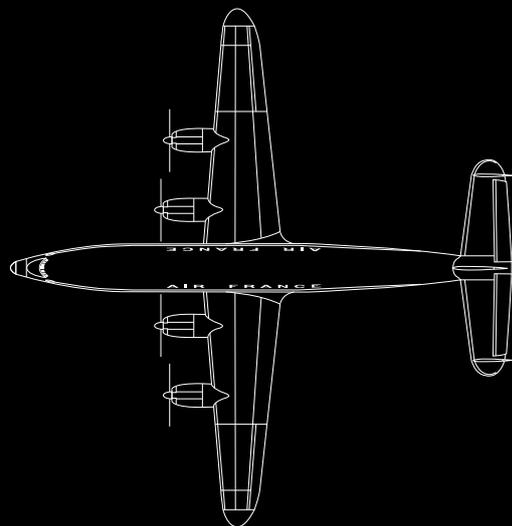


# ふたつの時代

所蔵品でたどる「パリの日本人」

第二部



# 戦後世代の横顔 ●

## パリの革新、1950-60年代

2015年2月14日(土) - 3月22日(日)

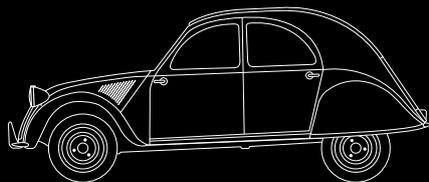
午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

月曜休館

一般 500(400)円、大高生・65歳以上 400(300)円、小中生無料

\* ( )内は20名以上の団体料金、  
障がいのある方は半額、付添者1名は無料

主催/公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館



## 目黒区美術館

153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36

tel.03-3714-1201

www.mmat.jp

同時開催

[ 秋岡芳夫全集 3 : 版画 ]

ワークショップ

積み木から摩天楼まで

2014年10月～12月に目黒区美術館が開催した  
ふたつの時代 所蔵品でたどるパリの日本人 第一部  
フジタのいる街角 巴里の誘惑、1910～30年代  
のチケット半券で、本展に団体料金でご入場いただけます。  
ご来館の際、受付でご提示ください。



今井俊満《ゴーゴースタイル》1965年  
油彩、キャンバス、目黒区美術館蔵

目黒区美術館では、「海外で学んだ画家たちとその作品」を作品収集方針のひとつとしています。本年度は秋冬の二期で、戦前と戦後、ふたつの時代のパリに関わった日本人画家たちの作品をご覧ください。戦前期に焦点をあてた第一部「フジタのいる街角」では、藤田嗣治を中心に、1910年代から30年代に渡り活躍した画家たちを振り返りました。第二部の本展では第二次世界大戦後の1950～60年代を中心に、パリで活躍、活躍した作家たちをご紹介します。

海外渡航が再び可能になった1950年代、二つの世代の作家たちがパリに向かいました。戦争で帰国を余儀なくされた戦前のヨーロッパを知る何人かの作家たち、そして、新たに登場した美術家としての戦後世代です。彼らは、同時代の美術の新しい動きに身を投じ、自らの表現を切り開いていったのです。本展では、これら二世を念頭に、主に後者の戦後世代に注目し、「抽象」や「アンフォルメル」の大きなうねりの中での、今井俊満、堂本尚郎、菅井汲、田淵安一らの活躍を中心に展示を構成します。また、土屋幸夫、成井弘、井出宣通、住川忠夫、さらに小杉放庵記念日光美術館よりお借りした中村直人を加え、戦後渡仏した目黒にゆかりの深い作家たちの作品もご覧ください。

大戦をはさみ変貌を遂げながらも変わらぬ本質を持ち続けた二つの時代のパリを背景に、当館コレクションを見直すことは、明治以来西欧に学んだ多くの日本人画家とその作品が日本美術にどのような影響を与え、どのような動きをもたらしたのかを知るきっかけのひとつとなるとともに、本展がとりあつかう1950年代から1960年代が現代の日本の美術の基盤にあることを確認する機会となるでしょう。

また、目黒を拠点として、生涯一貫した考えによるデザイン運動を発信しつづけた秋岡芳夫の、作品・資料を紹介する特集展示シリーズ第3弾、「秋岡芳夫全集3：版画」を同時開催いたします。



菅井汲《黒い手帖》1963年  
油彩、キャンバス、目黒区美術館蔵

《出品作家》  
井手宣通 (1912-1993)、近藤吾朗 (1911-1999)  
田中阿喜良 (1918-1982)、成井弘 (1910-1999)  
野見山暁治 (1920-)、浜口陽三 (1909-2000)  
駒井哲郎 (1920-1976)、今井俊満 (1928-2002)  
菅井汲 (1919-1996)、田淵安一 (1921-2009)  
堂本尚郎 (1928-2013)、土屋幸夫 (1911-1996)  
住川忠夫 (1936-1987) ほか



堂本尚郎《コンポジション》1959年 油彩、キャンバス、目黒区美術館蔵



田淵安一《影の通り道》1959年  
油彩、キャンバス、目黒区美術館蔵



今井俊満《黒い太陽》1956年  
油彩、キャンバス、目黒区美術館蔵



井手宣通《冬のモンパルナス通り》1955年  
油彩、キャンバス、目黒区美術館蔵



土屋幸夫《抽象構成》1954年  
油彩、キャンバス、目黒区美術館蔵



野見山暁治《ジプシーの小屋》1954年  
油彩、キャンバス、目黒区美術館蔵

成井弘《ルクサンブル公園》1954年  
油彩、キャンバス、目黒区美術館蔵



● 関連催事

大人のための美術カフェ

当日参加・申込不要

- 2月21日(土) 15:30～17:00  
当館館長 田中晴久による美術レクチャーです。  
参加費：無料(ただし当日の観覧券が必要となります)
  - 3月7日(土) 15:30～17:00  
担当学芸員によるギャラリートークと、展覧会や収蔵品についてのおしゃべりでお楽しみください。  
参加費：無料(ただし当日の観覧券が必要となります)
- ▶ 詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

▲ 同時開催：  
ワークショップ  
積み木から摩天楼まで

当館は、スイス・ネフ社の積み木を中心に子どもから大人まで遊べるおもちゃ(トイ)を多数コレクションしています。この「トイ・コレクション」を使い本展会期中、色と形の造形に挑戦するワークショップを開催します。詳細とお申込み方法は、当館ウェブサイトをご覧ください。



詳しいマップはこちらから

目黒区美術館

153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36 tel 03-3714-1201  
email: mmatoffice@mmat.jp

www.mmat.jp

メルマガ会員募集中

https://service.sugumail.com/mmat/



JR山手線・東急目黒線  
東京メトロ南北線・都営三田線  
目黒駅下車徒歩10分  
東急バス  
権之助坂(目黒通り)下車徒歩5分、  
田道小学校入口(山手通り)  
下車徒歩3分  
目黒区民センター敷地内